

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

秋野菜の定植の時期だが毎日続く強い日差しに定植に心を痛めたに違いない。今年ほど天気予報と実際の天気が異なった記憶は少な

いが、これも異常気象の影響かと考えてしまふ。この時期は「行き合いの空」という言葉がある。入道雲の傍らで、はげで掃いたような秋の雲が流れ激しい残暑があるにしても、去る夏と近づく秋が同居すると。俳人の正岡子規は「春雲は絮(わた)たのこころ、夏雲は岩のこころ、秋雲は砂のこころ、冬雲は鉛のこころ」と自然を捉えた表現の巧みさを感じるが、今のような異常な天候を子規ほどのように表現するのだからうか。

天候不順から野菜価格が高いと感じ野菜購入を控えているとの声が聞えてくる。8月31日は数字の語呂合わせから「野菜(8031)の日」昨日の24日はカレンダーの「野菜の日」の真上にあるとして「ドレッシングの日」と言われているが、掛け算の「8×3×1」の意味も含まれているらしい。8月24日から31日は「サラダウィーク」だ。

食卓で意識しながら健康のため積極的に摂取しよう。先週行われた第15回白馬カップ大学女子ソフトボール大会は台風7号の影響で参加できない大学もあり日程変更を余儀なくされ、激しい。そして仲間とともに大好きなソフトボールを楽める喜びを感じる

「サラダウィーク」だ。野菜摂取を意識しよう

津木妙子さんは「たった一つのボールがチームの絆を生み、さらに上を目指す意気込みと、汗まみれになって一つのボールを追い続ける姿と素晴らしいプレーを見せてください。そして仲間とともに大好きなソフトボールを楽める喜びを感じる」

ニス」がある。学生にスポーツを奨励して「練習は不可能を可能にする体験を持つ」「フェアプレーの精神」「友を得ること」としてスポーツが若者に与える3つの宝を得ることを目指した現場を強く感じる事ができた大会でもあった。(信州地域社会フオーラム会員・白馬村森上)



白馬カップ14大会務めた会長職を退いた吉沢篤さん。特別顧問でも大会運営に大活躍だ